



令和3年1月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和2年12月11日

上場会社名 株式会社 精養軒

上場取引所 東

コード番号 9734 URL <https://www.seiyoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 裕

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 清田 祐司

TEL 03-3821-2181

四半期報告書提出予定日 令和2年12月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 令和3年1月期第3四半期の業績(令和2年2月1日～令和2年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年1月期第3四半期	588	76.5	878		705		733	
2年1月期第3四半期	2,506	0.6	7	88.2	19	74.9	9	81.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年1月期第3四半期	281.67	
2年1月期第3四半期	3.56	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年1月期第3四半期	5,811	2,646	45.5	1,017.29
2年1月期	6,865	3,511	51.1	1,350.14

(参考)自己資本 3年1月期第3四半期 2,646百万円 2年1月期 3,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年1月期		0.00		5.00	5.00
3年1月期		0.00			
3年1月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点において令和3年1月期の配当予想については、中間配当金は無配、期末配当金は未定であります。

3. 令和3年1月期の業績予想(令和2年2月1日～令和3年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年1月期3Q	2,628,000 株	2年1月期	2,628,000 株
期末自己株式数	3年1月期3Q	27,384 株	2年1月期	27,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年1月期3Q	2,600,616 株	2年1月期3Q	2,600,616 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

令和3年1月期の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、現時点で適正かつ合理的な算定が困難なため、未定といたします。今後、業績予想が合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言に伴う経済活動の停止などにより、リーマンショックを上回る深刻な事態となりました。

飲食業界におきましては、外出の自粛や集団での会食に対する警戒感の高まり、各種イベントの中止などにより、大変厳しい経営環境となりました。

このような情勢下、当社といたしましては、お客様と従業員の安心・安全の確保を最優先課題と据え、マスクの着用、消毒・手洗い・検温等の徹底、ソーシャルディスタンスの確保、一時的な休業及び時短営業など、政府方針に沿った感染防止策を講じるとともに、人員配置を中心とした業務の効率化、コスト削減等に努めて参りました。しかしながら、緊急事態宣言解除後も当社を取り巻く環境は厳しく、当社の店舗が集中する上野公園内は、各種イベントの中止や各施設の入場制限などにより来園者数が大幅減少、また、多人数での宴会に対する警戒心が未だ強く、過去に類を見ない業績の低迷が続いております。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は588百万円（前年同期比76.5%減）となりました。営業損失は878百万円（前年同期は営業利益7百万円）、経常損失は705百万円（前年同期は経常利益19百万円）、四半期純損失は733百万円（前年同期は四半期純利益9百万円）となりました。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見込めず、当面は、景気低迷が続くものと予想されます。

飲食業界におきましても政府による「GO TO キャンペーン」等への期待感もありますが、訪日外国人の回復に相当の時間を要し、宴会利用なども国内需要の回復が見込めない中、依然として厳しい環境が続くものと推察されます。

このような状況下、当社といたしましては、ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえ、各店舗の収支構造改革、コスト削減、業務の効率化、営業強化、人材強化などに注力し、全社一丸となってこの難局を乗り越えて参る所存でございます。引き続き、お客様と従業員の安心・安全の確保を最優先課題として、感染防止対策を徹底して参ります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ1,054百万円減少し5,811百万円となりました。流動資産は866百万円減少の4,097百万円、固定資産は188百万円減少の1,713百万円となりました。

流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金が899百万円減少したことによるものです。

固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券が163百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末と比べ188百万円減少し、3,165百万円となりました。流動負債は142百万円減少の261百万円、固定負債は47百万円減少の2,904百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、買掛金が42百万円及び未払金が41百万円並びにそのほかが35百万円減少したことによるものです。

固定負債の減少の主な要因は、長期前受収益が54百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末と比べ866百万円減少し2,646百万円となりました。この減少の主な要因は、利益剰余金746百万円及びその他有価証券評価差額金が120百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大により、本年2月以降、国内外で大規模な行動自粛の措置がとられる中、企業及び消費活動は停滞し、国内経済は急速に悪化いたしました。

5月下旬には緊急事態宣言が全国で解除されましたが、未だ完全な新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が見通せない中、現時点で合理的な業績予想の算定は困難であり、令和3年1月期通期業績の予想は、引き続き未定とさせていただきます。今後、合理的な業績予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和2年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,795,792	3,896,430
売掛金	93,799	30,488
たな卸資産	34,289	27,803
未収消費税等	-	84,200
その他	39,380	58,850
貸倒引当金	△29	△295
流動資産合計	4,963,230	4,097,475
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	370,718	345,785
土地	603,188	609,188
その他(純額)	61,493	56,098
有形固定資産合計	1,035,399	1,011,071
無形固定資産	2,023	2,023
投資その他の資産		
投資有価証券	807,318	644,211
その他	56,692	55,806
投資その他の資産合計	864,010	700,016
固定資産合計	1,901,432	1,713,111
資産合計	6,864,662	5,810,586
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,714	21,362
未払金	107,069	66,369
未払費用	52,107	48,990
未払法人税等	14,976	1,292
前受収益	72,647	72,647
賞与引当金	30,600	24,300
その他	61,629	26,194
流動負債合計	402,743	261,153
固定負債		
退職給付引当金	507,281	523,531
役員退職慰労引当金	118,086	127,719
繰延税金負債	116,919	99,577
長期前受収益	2,201,683	2,147,197
その他	6,767	5,818
固定負債合計	2,950,735	2,903,843
負債合計	3,353,478	3,164,996

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和2年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	131,400	131,400
資本剰余金	4,330	4,330
利益剰余金	3,046,957	2,301,427
自己株式	△20,650	△20,650
株主資本合計	3,162,037	2,416,507
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	349,147	229,082
評価・換算差額等合計	349,147	229,082
純資産合計	3,511,184	2,645,589
負債純資産合計	6,864,662	5,810,586

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成31年2月1日 至令和元年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自令和2年2月1日 至令和2年10月31日)
売上高	2,506,002	588,018
売上原価	1,040,546	493,755
売上総利益	1,465,456	94,263
販売費及び一般管理費	1,458,032	972,448
営業利益又は営業損失(△)	7,424	△878,185
営業外収益		
受取利息	849	874
受取配当金	6,188	6,490
雇用調整助成金	-	166,487
雑収入	4,276	4,959
営業外収益合計	11,313	178,810
営業外費用		
減価償却費	-	5,320
営業外費用合計	-	5,320
経常利益又は経常損失(△)	18,737	△704,696
特別損失		
固定資産除却損	296	254
特別損失合計	296	254
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	18,440	△704,950
法人税、住民税及び事業税	13,772	758
法人税等調整額	△4,592	26,819
法人税等合計	9,180	27,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,260	△732,526

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響については、感染の拡大が続いている状況に鑑み、令和3年度から令和4年度にかけて徐々に改善して令和5年度期首以降は例年並みの需要が見込まれるとの仮定に変更し、繰延税金資産の回収可能性及び減損損失の認識の判定等の会計上の見積りを行っております。